



平成20年11月10日

各位

会社名 スズデン株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 鈴木 敏雄
 (コード番号 7480 東証第一部)
 問合せ先 情報企画部長 永田 佳久
 T E L 03-5689-8001

剰余金の配当並びに業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年11月10日開催の取締役会において、平成20年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想及び期末配当予想につきまして、平成20年8月5日付当社「平成21年3月期第1四半決算短信」にて公表いたしました予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 剰余金の配当

	決定額	直近の配当予想 (平成20年8月5日公表)	前期実績 (平成20年3月期中間)
基準日	平成20年9月30日	同左	平成19年9月30日
1株当たり配当金	8円	同左	10円
配当金の総額	116百万円	—	146百万円
効力発生日	平成20年12月5日	—	平成19年12月7日
配当の原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 平成21年3月期通期業績予想の修正

(1) 通期連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	39,900	1,320	1,510	810
今回修正予想 (B)	37,800	1,085	1,220	659
増減額 (B-A)	△2,100	△235	△290	△151
増減率	△5.3%	△17.8%	△19.2%	△18.6%
前期(平成20年3月期)実績	41,772	1,542	1,726	968

(2) 修正理由

平成21年3月期第1四半決算短信（平成20年8月5日付）公表時点では、第3四半期以降、国内景気は設備投資を中心として若干ではあるものの回復すると見込んでおりましたが、その後の顧客の状況や業績推移を勘案すると第3四半期以降も回復は見込めないものと予想し、期末の業績予想を修正いたしました。

売上高は、主力顧客であります電気機器・電子部品・産業機械業界において設備投資の抑制や生産調整が継続し、建設業界におきましても着工の抑制が継続すると見込まれます。

利益確保のため、利益率向上や販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりますが、コスト増加要因として、千葉県松戸市に建築中の新物流センターの完成が早まる見通しであることから、平成21年5月に予定していた移転も当期中に進めることでの移転費用の発生を見込んでおります。その他、特別損失として現物流センター3ヶ所の設備の固定資産除却損、及び現在の株価の状況を考慮した投資有価証券評価損の発生を見込んでおります。

3. 期末配当予想の修正

(1) 期末配当予想

	期末配当金	年間配当金
前回予想 (平成20年8月5日発表)	16円 〔普通配当 11円〕 〔記念配当 5円〕	24円
今回修正予想	12円 〔普通配当 7円〕 〔記念配当 5円〕	20円
前期(平成20年3月期)実績	23円 〔普通配当 13円〕 〔記念配当 10円〕	33円

(2) 修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけております。

配当につきましては、配当性向33%を基本に各事業年度の利益状況や配当性向等を総合的に勘案し、内部留保にも考慮しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

平成21年3月期の期末普通配当金につきましては、平成20年8月5日に発表いたしました「平成21年3月期第1四半期決算短信」にて1株当たり11円と発表しておりましたが、下期も景気減速による設備投資需要や生産調整の低下により売上高の回復が見込めず、期初に予想した当期純利益の確保が困難であるとの見込みから1株当たりの普通配当を7円といたします。

この結果、平成21年3月期の期末配当金は、創業60周年記念配当5円を加え1株当たり12円となり、年間配当金は第2四半期末配当金8円を加え、1株当たり20円となる予定であります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上